

わかたけ

発行所
豊田工科高等学校
第145号
2024.10.1

心の声を大切に

校長 魚谷 和広

保護者の皆様方には、日頃より本校の教育に深い理解と、多大なる御協力、そして温かい御支援をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。「わかたけ」という広報誌で本校生徒とこれから本校に入りたいと考えてくれている生徒に対して、メッセージを発信したいと思います。

さて、本年度はパリでオリンピックが開催され、無観客で行われた東京五輪とは打って変わって大観衆の中、競技が行われています。やはり、大声援の中のパフォーマンズは見応えがあり、見る人を魅了します。そのような中、私は日々、様々な競技をテレビ等で観戦し、盛り上がっていました。特に、男子バレーのイタリヤ戦はリアルタイムで家族とともに手に汗握りながら、「よっしゃっ!」とか「打てー」とか声を出しながら、応援していました。惜しくも負けてしまいましたが、そこには大きな感動がありました。

ではなぜ、感動は生まれるのでしょうか。
オリピックだからでしょうか。

私は、ちよつとやそつとでは掴めない夢を、ひたむきに努力し、必死に掴もうとするから感動が生まれるのだと思います。

ところで、みなさんは、トム・ホーバスさんという方を知っていますか。

現在、バスケットボール男子日本代表ヘッドコーチ

をしている方です。それ以前は、東京オリンピックで女子日本代表のヘッドコーチを四年間務め、強豪チームを次々と破り、銀メダルに導いています。トム・ホーバスさんはヘッドコーチを引き受ける際の会見で、「目標は東京オリンピックで金メダルを取ること」と宣言しています。当時の女子日本代表はまだ世界レベルではないと関係者は思っていたので、周囲の人からは金メダルを獲得することは無理だと言われていました。それでも彼は、目標を立てることの大切さを知っていて、この目標は必ず実現できると信じ、選手にも周知し続けていたそうです。

目標を設定することはとても大切です。そして、その目標を達成できると信じることに、声に出して周りに宣言することも大切です。このことは、我々の学校生活にもつながる話ではないでしょうか。まずは、目標を設定し、宣言してみましょう。そして、そのために必要な努力を重ね、様々な壁を乗り越え、感動を巻き起こしましょう。このような体験をする人が豊田工科高校からたくさん生まれることを期待します。

この話を通して、みなさんに伝えたいことは、どのような局面においても、現状に満足せず、自分の力を信じ、「うまくなりたい」「賢くなりたい」「できるようになりたい」という自分自身が成長しようとする心の声を大切に、昨日より今日、今日より明日と毎日少しずつよくなるための行動を起こしてほしいということです。そして、一歩踏み出したら継続あるのみです。

経営の神様と言われる松下幸之助先生は、

「現状維持は衰退の始まり」

と言っています。私も豊田工科高校の校長として、常にこの言葉を意識して、失敗を恐れず、小さなチャレンジを積み重ね、学校を成長させていきたいと考えています。みなさんも、いろいろなことに積極的に挑戦し、その先の感動をたくさん体験してください。



学びが夢を広げる



PTA会長
三浦真紀子

日頃よりPTA活動にご理解、ご協力頂きありがとうございます。

入学式に出席したのは早い先日のように、時が過ぎるのは早いものですが『人あって技術あり』を校訓とする、この豊田工科高等学校で子ども達は、たくさん専門知識や技能を学び、資格や検定にチャレンジしながら、それらを新しい財産として増やしてきました。学ぶことの素晴らしい点は、手に入れた知識や技能は、誰にも奪われることも、消えて無くなることも無いということです。

知識も技能も力なり！失敗も経験！コツコツサボらず諦めずに学び続けることで地に根を張り、社会に出て更に高いレベルの知識や技能を求められた時など、困難を乗り越える時の大きな原動力となると思います。この豊田工科高等学校での学びが、新しい分野への興味や夢が広がるきっかけになることを願っています。

一人で大きな夢を叶えるのは大変ですが、家族や仲間の協力、そして社会に出たら職場や地域の人との人脈が、更に大きな力になります。その為にもコミュニ

ケーションを上手に取るのが大切になつていくと思います。豊田工科高等学校の先生方は、卒業後多くの生徒が直ぐ社会に出ることを見越し、先生方から率先して挨拶するなど、子ども達が社会に出てても可愛がつて貰えるよう、日々指導して下さっています。先日、先輩の親御さんから、「この学校で身につけた『挨拶』が、意識せずにできることで、会社でお褒めの言葉を頂いた。」と聞きました。私も学校に行った時、子ども達から元気な挨拶が聞けると、嬉しい気持ちになります。

私たちは皆一つの心と一つの体にな一生お世話になります。変えることのできない大切な身体は最大の財産です。子ども達が健康で元気に過ごしてくれることが、家族の喜びでもあります。ゆっくり休める木陰や風除けになりながら、身体を休める場所として、これからも見守り続けていきたいです。

この先大変なこともあると思います。が、諦めず一歩一歩夢に向かって走り続けてくれること、そして豊田工科高等学校からたくさんの夢が広がることを心から願っております。

活気ある学校で子ども達が充実した生活を送り、地域の方々にも可愛かって頂ける魅力ある学校の発展に向けて私たち役員、委員も先生方と力を合わせ頑張つて参ります、引き続きご協力よろしくお願ひします。



令和六年度職員異動

◇転出者

長谷川智一（保健体育）	一色高校（定時制） 教頭
永田 徹（電子工学）	豊田工科高校（定時制）
大塚理江子（英語）	豊田東高校
石田 瞳（自動車）	小牧工科高校
桐生 敬寿（機械）	刈谷工科高校
鈴木 善久（自動車）	刈谷東高校（夜間定時制）
坂下 浩治（国語）	退職
石川 和弥（数学）	退職
杉田 誠（英語）	退職
岡村 実光（電子工学）	退職
高木章太郎（自動車）	新規採用 碧南工科高校
吉田 将大（IT工学）	春日井工科高校
中根 雄太（IT工学）	新規採用 鶴城丘高校
伊藤 武士（事務）	豊田北高校
酒井 智崇（事務）	経済産業局海外連携推進課

◆転入者

大垣 美咲（国語）	西春高校
明星 光信（保健体育）	豊田北高校
真鍋友里絵（自動車）	小牧工科高校
落合 貴明（電子工学）	半田工科高校
清水 拓海（自動車）	新規
松井由美子（英語）	豊野高校
黒石 英文（電子工学）	豊田工科高校（定時制）
長田健太郎（理科）	新規
與河 菜奈（IT工学）	新規
市野 俊作（電子工学）	新規
佐藤 勉（事務）	安城高校
小寺 弘照（事務）	岡崎工科高校

IT工学科ニュース「課題研究」

IT工学科主任 牧野 裕也

今回は二つ紹介したいと思います。まず一つ目は今年度無人搬送ロボットを開発、製造している企業からAGV(無人搬送車)を寄贈していただきました。(図①)このロボットは製造現場などで必要となる材料や工作物などを積んで人の力を借りることなく所定の場所に運ぶ移動ロボットです。制御次第で充電器に自動で戻ることもできます。初めは動かすことに苦労しますが、ソフトの使い方やセンサをうまく利用することでぶつかることなく所定の位置まで自動で走った時には達成感があります。二つ目はSBOボードの製作です。これは野球で使用するストライク、ボール、アウトそれぞれを表すするボードで電子工学科と共同で製作しています。リモコン操作でそれぞれのランプを点灯、消灯できるようにプログラムしています。写真は使わなくなった下駄箱を使って切断機で穴をあけ、やすりがけをしています。(図②)この後ランプや制御基板を取り付け、動作確認をします。この学科は図面の設計から加工、プログラムと幅広く学ぶことができます。興味があればぜひIT工学科と一緒に学びましょう!



図② 作業の様子



図① 寄贈されたAGV

機械科ニュース「競技大会」

機械科主任 前野 将之

この夏、機械科から3名の生徒が競技大会に出場しましたので、紹介させていただきます。8月3日(土)、愛媛県新居浜市において全国選抜高校生溶接技術競技会が開催されました。本校からは3年生の千田明徳君が炭酸ガスアーク溶接部門、2年生の山本来惟希君が被覆アーク溶接部門に出場しました。千田君は作品がイメージどおりにできず、競技終了後、悔し涙を流していたようですが、結果は優秀賞(2位)という素晴らしいものでした。きつと、涙が出るほどの熱意が結果につながったのだと思います。山本君は残念ながら入賞は逃してしまいましたが、作品の出来は非常に良かったとのことなので、大会のレベルの高さがうかがえます。今回の経験を糧にもう1年、溶接の腕をますます磨いてもらいたいと思います。8月21日(水)、愛知県立愛知総合工科高等学校にて高校生ものづくりコンテスト東海大会が開催されました。旋盤部門に3年生の石川稜真君が出場し、第3位という立派な成績を収めました。彼は2年生の時、「今まで何も頑張ってきたものがなかったから」と一念発起して旋盤の練習に打ち込み、その実力を伸ばしてきました。その結果、5月に行われた愛知県総合競技大会で優勝し、今回の大会に駒を進めることができました。「勝負は時の運」という言葉もあり、結果は必ずしも実力だけで決まるというわけではありません。しかし、そこに向けて積み重ねてきた努力は、必ずこの先の人生で自分を支えるバックボーンとなるでしょう。ここまで読んでくれた生徒の皆さんは、今まで時間をかけて努力を重ねてきたことはあるでしょうか。工科高校だからといってものづくりに限定することはありません。もし何もないのなら、何か始めてみてはどうでしょうか。きつと自分の人生が豊かになると思いますよ。

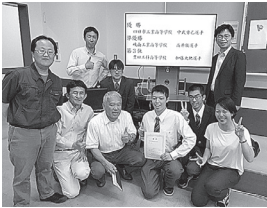
自動車科ニュース「挑戦」

自動車科主任 山邊 智志

自動車科3年生の加藤大地君が、5月に行われた高校生ものづくりコンテスト東海大会自動車整備部門に参加しました。自動車整備部門は、東海地区の自動車科がある9校の学校代表が自動車整備に関する知識・技術を競う大会です。学科課題、点検課題、車両整備、故障診断の4つの課題の正確さと速さを競うことになり、必要となる知識と覚えなければならぬ作業は、多岐にわたります。自動車科の先生はもちろん、クラスメイトの佐藤折颯君、新明工業株式会社の中村様らの多くのサポートに支えられ、時間をかけて準備をして大会に挑みました。その結果、見事に3位入賞という優秀な成績を収めました。

更に、この時の経験を専門高等学校生徒の研究文・作文に応募したところ、最優秀作品として表彰していただくことになりました。この作文の中で加藤君は、失敗することのリスクを恐れず「挑戦」することにより貴重な経験と学びがあり、自分自身の成長を感じることができたと言っています。

2つの賞を取れたことも素晴らしいですが、「挑戦」することので得られた経験は、今後の様々な場面で加藤君を助けてくれるはずです。これを読んでも、前向きに何かに「挑戦」してくれる人がいればと思います。紹介させていただきます。



表彰式



練習中

電子工学科ニュース「近況報告」

電子工学科主任 柴田 幸久

令和六年度が始まり半年近くなりました。生徒の皆さん・電子工学科の担任の先生も無事全員進級しました。残念ながら転出された先生がみえ、また、転入された心強い先生もみえます。転出された永田先生には電子工学科主任としてご尽力されまして異動先の本校定時制での活躍を期待しております。

転入された黒石先生は熟練した技術・技能を生徒たちに伝授していただけており、大きな戦力が加わったことに大変うれしい限りです。市野先生は細かなことに気が付く優しい先生で、常に生徒たちを見守る兄貴分として活躍いただき助かっています。

7月に2年生は、「スキルアップ講座」を実施しました。ドローン技術を身近に見学し、最新のスポーツカーと電気自動車に乗車体験し、IoTデバイスを作成、ゲームのプログラミングとCG作成、生活コースの生徒には生活家電の製造販売を外部講師を招いて実施しました。どの講座も高等学校では「学べない・体験できない」ものばかりで生徒たちに興味関心を抱いてもらいます。そのような中、いつしか燕も南国に帰る、静かな豊田工科高校になった、と、言いたいところですが3年生生徒は履歴書作成・面接練習と猛暑の中、就職活動に励み、また「高校生ものづくりコンテスト東海大会・電子回路組立部門」出場の3年6組柴田創吾君はお盆期間を返上してハンダコテとパソコンを相手に練習を重ねています。

2学期には就職試験をはじめ、2年生は工場見学を行い専門技術を学び、「働く」とは何かを肌で感じてもらいたいのです。1年生は初めての豊工祭が待っています。多くの生徒が卒業後就職する中で、是非、活動を通して友達関係友人関係を作ってください。企業からは「コミュニケーション能力」を重要視されます。この2学期は、情性で過ごすことなく目標をもって部活動での活躍でも、資格取得でもチャレンジに挑戦してもらいたいものです。

活躍する豊工生

令和5年度西三河高等学校
1年生バレーボール大会



優勝 代表 ④23組 服部 颯真
④23組 伊東 類

第78回愛知県高等学校総合体育大会
ラグビー競技 三河支部予選会



準優勝 代表 35組 黒田 輝

豊田市民総合体育大会
バレーボール競技 高校の部



第3位 代表 ④31組 高宮 櫻海
④35組 新庄 晃斗

第78回愛知県高等学校総合体育大会
カヌー競技 500m男子C-1



優勝 ④35組 若宮 駿士
第2位 ④11組 水野 駆

同 男子団体
第3位 代表 35組 若宮 駿士

第27回スプリングスプリントカヌー
競技大会 種目 J C-1
第1位 35組 若宮 駿士
第2位 11組 水野 駆

高校生ものづくりコンテスト東海大会
自動車整備部門



第3位 34組 加藤 大地

豊田市民総合体育大会
剣道 高校・大学・一般女子の部



第3位 ④26組 鶴田 歌凜
④26組 松本 爽良

第30回愛知県高等学校工業教育研究会
総合競技大会 電気工事競技の部



佳作 35組 近藤 廉斗

第30回愛知県高等学校工業教育研究会
総合競技大会 電子回路組立競技の部



優勝 36組 柴田 創吾

3級技能検定 機械・プラント製図
(機械製図CAD作業)



31組 近藤 笹音

愛知県青少年赤十字指導者協議会



感謝状 代表 31組 加藤 起麻

愛知県高等学校文化連盟 西三河支部
令和6年度 高校生・春の写真展



奨励賞 24組 杉山 青

第30回愛知県高等学校工業教育研究会
総合競技大会 旋盤作業競技の部



優勝 32組 石川 稜真

第71回東海高等学校総合体育大会
カヌー競技 500m男子カナディアン
シングル競技



優勝 ④35組 若宮 駿士
第3位 ④11組 水野 駆

同 カヌー競技 男子団体総合
第5位 代表 35組 若宮 駿士

国民スポーツ大会 第45回東海ブ
ロック大会 カヌースプリント競技
少年男子C-2
第1位 35組 若宮 駿士
11組 水野 駆



佳作 22組 山本来惟希

第30回愛知県高等学校工業教育研究会
総合競技大会 溶接作業競技の部



第2位 21組 脇岡 宙輝

第72回情報技術検定
1級 合格 4名
2級 合格 23名
3級 合格 10名



代表 31組 古橋 青空

令和6年度愛知県高等学校ハンド
ボール選手権大会 男子



第5位 代表 32組 太田 優杜

令和6年度愛知県高等学校バレー
ボール選手権大会
西三河支部予選会



第7位 代表 35組 石川 大樹

第26回西三河高等学校陸上競技
1年生大会兼2年生記録会
(6.000kg)